



保護者のみなさまへ

校長・准校長だより

令和6年1月17日 No.9

大阪府立西浦支援学校

校長 山崎 彩

准校長 鈴木 亮彦

ほんねん ねが
本年もよろしくお願ひいたします

ふゆやす お がっこう こ にぎ こえ もど しょうがつ おも て たの はな こ
冬休みが終わり、学校には子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。お正月の思い出を楽しそうに話す子
どもたちの姿は、とても輝いていました。2学期の終業式には、「1年の計は元旦にあり」という言葉を紹介しま
した。年の初めに子どもたちがどんな計画を立てたのか、また、この後どのように実行していくのか保護者のみ
なさまと一緒に見守っていきたいと思います。



ぼうさい げんさい かんが
防災・減災について考える

しぎょうしき がつにつに はっせい の とはんとうじしん はなし おおさか ちいき しんど
始業式では、1月1日に発生した能登半島地震について話をしました。大阪でも地域によっては震度4を
かんそく おお ゆ かん ふあん きも ひと
観測し、大きな揺れを感じて不安な気持ちになった人もいました。

いしかわけん の とはんとう はっせい しんど じしん かおく どうかい くず つなみ だいきぼかさい
石川県の能登半島で発生した震度7の地震により、家屋の倒壊やがけ崩れ、津波、大規模火災により、2
しゅうかんいじょう けいか いま けんめい きゅうめい きゅうじよかつどう つづ こんかい じしん いのち うしな
週間以上が経過した今もお、懸命な救命・救助活動が続いています。今回の地震ではたくさんの命が失わ
れ、あんび わ 分からない人が未だにおられることに胸が締め付けられる思いです。

どうじつ こ の とはんとうじしん がいよう つた な かた めいふく いの
当日は、子どもたちに能登半島地震の概要を伝えるとともに、亡くなられた方のご冥福をお祈りするために、
いっしょ もく しんねん いわ きも いってん こんかい じしん てんさい
一緒に黙とうをしました。新年を祝う気持ちを一転させた今回の地震は、天災がいつ、どこでも起こり得ること、
ぼうさい げんさい むすか あらた つよ かん こ 子どもたちには、もしさいがい お
防災・減災の難しさを改めて強く感じさせました。子どもたちには、もし災害が起こった
とき じぶん み まも つぎ じぶん なに かんが こうどう
時には、まずは自分の身を守ること、その次に、自分に何ができるのかを考え行動するよ
うに伝えましたが、今一度ご家庭でもお子さんと一緒に日頃からの備えについて、話して
つた いまいちど かてい こ いっしょ ひごろ そな はな
みてください。



ぼうさいこんだて
1/17 防災献立

がつ にち すい ふりつしえんがっこう きょうぎかい たいふこんだんかい
12月13日(水)府立支援学校PTA協議会 対府懇談会について

おおさかふ ち じぶきょく きょういくちやう こんだんかい おこ かくこう かいちやう いちどう かい ようぼうしよ
大阪府(知事部局、教育庁)との懇談会を行いました。各校の会長が一堂に会し、要望書をもとに、やりとり
をおこな ほんこう てきせい つうかくいきわり そつぎやうご ほうかごどう か じぎやうどう
を行いました。本校からは、適正な通学区域割と卒業後の放課後等デイサービスに代わる事業等について
ようぼう げんざい せいど せんぱいほごしや かたがた じみち どりよく じつげん おお
要望しました。現在ある制度は、先輩保護者の方々の地道な努力があつてこそ実現されているものも多く、その
どりよく おも はせ ととき こんかい ようぼう こんご よ せいど つな きたい おも
努力に思いを馳せるひと時にもなりました。今回の要望が今後のより良い制度に繋がることを期待したいと思
います。